

報告資料

(1) 平成28年度千葉県総合教育会議の協議結果について

12

平成28年度千葉県総合教育会議の協議結果について

平成29年1月18日
企画管理部教育政策課

本県では、平成27年に「千葉県総合教育会議*」を設置し、同年10月に知事が「千葉県の教育の振興に関する大綱」を策定しました。

平成28年度は、「大綱」の基本方針のうち、「学校、家庭、地域の連携を深め、地域社会全体で子どもたちを育成する体制づくり」を取り上げて協議が行われ、このたび、その協議結果がとりまとめられました。

今後は、本協議結果における施策の方向性を踏まえ、教育委員会と知事部局等がより一層連携しながら、施策の展開を図っていきます。

* 総合教育会議：知事と教育委員会を構成員とし、教育の目標や施策の根本的な方針を定める「大綱」や教育の重点施策等について協議

1 平成28年度千葉県総合教育会議 開催状況

□テーマ 未来を担う子どもたちの健全な育成に向けて
(子どもを育む学校・家庭・地域の連携)

第1回会議 平成28年 5月20日

第2回会議 平成28年 8月24日

第3回会議 平成28年11月16日

2 協議結果の概要

○ 知事と教育委員会との会議における共通理解

- ① 家庭教育は教育の原点
- ② 学校がよりよい地域を創るという目標を地域と共有し、相互に連携・協働することの重要性
- ③ 地域で様々な主体が連携して子どもたちの教育に積極的に関わっていくことの重要性

○ 今後取り組んでいく施策の方向性

- ① 子育て中の保護者に対する社会的支援
- ② 親の学びや親子の絆を深める機会の提供などによる家庭教育の支援
- ③ 子どもたちに向けた親の役割等を学ぶ教育の推進
- ④ 学校における地域の教育力の活用
- ⑤ 地域を舞台とした子どもたち向けの支援
- ⑥ 子どもたちの成長に関わる人材の育成と活用

未来を担う子どもたちの健全な育成に向けて
(子どもを育む学校・家庭・地域の連携)

平成29年1月12日
千葉県総合教育会議

【本年度の総合教育会議のまとめ】

1 未来を担う子どもたちの健全な育成に向け、今年度の総合教育会議において、これまで協議を行ってきたが、以下の点について意見の一致をみた。

- 家庭教育は教育の原点であることから、子育てに悩む親に対する支援や親の学び・親子の絆を深める機会の提供は大変重要な課題である。また、将来親になっていく子どもたちが、命の大切さや親の役割についての学びを進めていくことも同じく重要である。
- 学校は地域とともに、よりよい地域を創るという目標を共有し、併せてこれからの地域を創る子どもたちに必要な資質・能力を育むことを目指して、より一層連携・協働することが求められている。
- 地域においては、様々な主体が子どもたちの教育に関わっており、これらが一層連携して、子どもたちの育成により積極的に関わっていくことが重要である。

以上の各点を踏まえ、今後は教育委員会と、知事部局や市町村等の行政機関など様々な主体が相互により一層連携しながら、未来を担う子どもたちの健全な育成に向け、地域の実情に即した施策の展開を図っていく。

2 以下に、今後取り組むべき知事部局と教育委員会の学校・家庭・地域連携に係る6つの施策の方向性を整理した。

- ① 子育て中の保護者に対する社会的支援
- ② 親の学びや親子の絆を深める機会の提供などによる家庭教育の支援
- ③ 子どもたちに向けた親の役割等を学ぶ教育の推進
- ④ 学校における地域の教育力の活用
- ⑤ 地域を舞台とした子どもたち向けの支援
- ⑥ 子どもたちの成長に関わる人材の育成と活用

次ページ以降、詳細について掲載する。

① 子育て中の保護者に対する社会的支援

核家族化など家庭のあり方が変化し、若年出産や高齢出産などにより子育て世代が多様化する中で、保護者の孤立化を防止し、個々の家庭がその力を十分に発揮できるようにするため、地域全体で子育てを支援する体制づくりに取り組みます。子育て中の保護者同士の協力や子育てを卒業した者によるサポート、学校や幼稚園等を拠点とした保護者支援の機能を強化し、家庭状況に応じた支援を充実させます。

(主な取組)

- ・ 市町村による「家庭教育支援チーム」設置支援に係る検討【新規】
地域の学校や公民館などを拠点に子育てや家庭教育に関する相談に乗ったり、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会の提供、地域の情報提供などを行う「家庭教育支援チーム」の市町村による設置の支援を検討する。
- ・ 「子どもと親のサポートセンター」における保護者に対する相談事業、休日開故事業の周知強化
- ・ 市町村が、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置を推進
- ・ 市町村が実施するすべての妊産婦や乳児のいる家庭への訪問、子育て支援に関する情報提供、子育て中の親子の相互交流、各種相談等に対する支援
- ・ 「ちば My Style Diary」の周知促進及び SNS との連携機能の推進

② 親の学びや親子の絆を深める機会の提供などによる家庭教育の支援

子どもの成長にとって親の役割が大変重要であることから、親自身がよりよい生き方を求め主体的に学ぶ機会を提供していくとともに、親と子の絆を深めるための取組を進めます。また、家庭学習の習慣化も含め、子どもの健全な成長に資する家庭環境の実現に役立つ情報を効果的に発信します。

(主な取組)

- ・ 自然体験活動を通じて親子の絆を深める施策の検討【新規】
青少年教育施設を活用し、親子が協力し自然体験活動に取り組むことにより、家族で協働することの大切さや一体感を味わい「家族の絆」を深めることのできる施策について、施設の指定管理者と連携した取組を進める。
- ・ 各教育事務所で実施する PTA を対象とした親の学びに係る研修の充実
- ・ 「家庭学習のすすめ」サイトの活用も含め、家庭学習の習慣化に向けた保護者等への啓発及び保護者と学校の連携推進
- ・ 学校に対する「学校から発信する家庭教育支援プログラム」活用に向けた推奨
- ・ 市町村実施の家庭教育学級等に活用できる「親の学びプログラム」の周知強化・活用事例研修会の実施

③ 子どもたちに向けた親の役割等を学ぶ教育の推進

将来にわたる家庭の力の向上のため、学校の教育活動全体を通じて、今後親になっていく子どもたちに向けた親子や家族の絆、命の大切さなどをテーマとした道徳教育を進めます。また、子どもの発達を支える親の役割を学ぶ子育て体験学習を進めます。

(主な取組)

- ・ 道徳教育の研究指定校や教員研修会を中心とした外部講師の活用促進
- ・ 千葉県の子育て支援事業「『いのち』のつながりと輝き」に基づいた道徳教材の開発
- ・ 中学校・高等学校における乳幼児との触れ合い体験等子育て体験学習の実施

④ 学校における地域の教育力の活用

学校教育において地域の教育力を活用することは効果的であり、地域社会の将来の担い手育成にもつながることから、地域が有する伝統文化や技、企業、高等教育機関の力などを学校教育に活用できるような仕組みづくりを進めます。また、学ぶことと社会のつながりを意識した教育課程に基づき、地域と連携したキャリア教育を推進します。

(主な取組)

- ・ 学校支援地域本部・放課後子供教室の充実
地域の子どもたちを地域で育てていく体制づくりを推進するため、地域ボランティアによる学習支援や環境整備、登下校時の見守りなどの学校支援活動を実施する「学校支援地域本部」と、放課後等における全ての子どもたちを対象とした安全・安心な活動拠点である「放課後子供教室」の充実を図る。
- ・ 児童生徒・保護者の抱える様々な課題に対する支援体制の充実
教育分野及び社会福祉に関する専門的な知識・経験に基づいて、児童生徒や保護者、教職員に対し、適切な支援を提供するスクールソーシャルワーカー配置事業の充実を図り、児童生徒支援の効果を高める。
- ・ 「社会に開かれた教育課程」実現に向けての教員研修及び指導資料の充実
学習指導要領改訂等を踏まえた教育内容の展開のため、幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校等の教員に対する研修及び指導資料の充実を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
- ・ 魅力ある県立学校づくりの推進
- ・ 学校における学力向上や、スポーツ・文化活動の振興等のための専門的な指導力を備えた外部人材の活用推進
- ・ 地域企業を活用したキャリア教育の充実

⑤ 地域を舞台とした子どもたち向けの支援

子どもたちの生活全般を通じた健全育成や学びを支援するため、関係機関等様々な主体の組織的な連携を進めることにより、地域の中で、学習支援や体験的な学習の充実に資する取組を推進します。子どもたちの社会性、自主性、協調性を育むことができるよう、世代間交流活動や集団活動などの充実に資するとともに、地域の特性に応じて、子ども参加の地域活性化に資する取組を推進します。

(主な取組)

- ・ 教育に関する大学・短期大学等と地域との連携に係る研究・検討【新規】
学生ボランティアによる、地域の子どもたちへの学習支援や体験的な学習の機会の提供などを進めるため、教育に関する支援の提供・連携を希望する大学・短期大学と支援・連携を希望する地域の双方について情報収集・リスト化等を行うとともに、コーディネートの実施について研究・検討を進める。
- ・ 高等学校における地域連携の推進
高校生のボランティアによる、地域の子どもたちへの学習支援や体験的な学習の機会の提供などを進めるため、教育に関して地域連携を行う私立高等学校を支援する。
- ・ 「地域未来塾」の充実
地域のボランティアにより、原則無料で希望する中学生等に対して学習の機会を提供する「地域未来塾」の充実に資するとともに、取組事例の紹介等により未実施の市町村に対する啓発を行う。
- ・ 子どもの学習支援事業(生活困窮者自立支援制度)の活用促進
- ・ 市町村が実施するひとり親家庭を対象とした子どもの生活・学習支援に対する支援
- ・ 地域の企業や高等教育機関と連携した「夢チャレンジ体験スクール」
(最先端の技術・学問などに触れる体験活動)の受入れ機関の開拓
- ・ スポーツや野外活動を通じた体験活動の機会を提供する青少年相談員活動の充実
- ・ 社会教育関係団体等の主催事業に係る学校への広報活動の強化による参加促進
- ・ 総合型地域スポーツクラブ設立の推進と学校・総合型地域スポーツクラブが連携した活動の推進

⑥ 子どもたちの成長に関わる人材の育成と活用

様々な主体が子どもたちの成長に関わっていけるよう、地域住民や専門家等、子どもたちの育成や教育に関心を持った多様な人材の育成と活用を推進します。

(主な取組)

- ・ 青少年相談員など青少年育成の担い手支援の充実
- ・ 学校支援コーディネーターの発掘・育成・ネットワークづくりの推進
- ・ 放課後児童クラブや一時預かり等子育て支援の担い手である「子育て支援員」の育成の推進
- ・ 学習機会や講師情報を提供するデータベース「ちばりすネット」の充実及び活用の促進
- ・ 学校における各分野の専門的な指導力を備えた外部人材の確保の推進

【平成28年度千葉県総合教育会議 実施状況】

□テーマ 未来を担う子どもたちの健全な育成に向けて

(開催日時)

第1回会議 平成28年5月20日 午後2時30分から3時50分
(サブテーマ 教育の原点としての家庭の力を高めるために)

第2回会議 平成28年8月24日 午前10時から11時15分
(サブテーマ 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上に向けて)

第3回会議 平成28年11月16日 午後2時30分から3時30分
(第1回、第2回会議の結果を受けた施策の方向性と主な取組について)

(会議構成員)

知 事	森田 健作
教育委員会 教育長	内藤 敏也
教育委員会 委員 (教育長職務代理者)	金本 正武
教育委員会 委員	京谷 和幸
教育委員会 委員	佐藤 眞理
教育委員会 委員	上西 京一郎
教育委員会 委員	井出 元